

## オーストラリアにおけるアスベストの使用

- オーストラリアは、世界でも人口一人あたりのアスベスト使用量が最高と言われる国の一つでした。
- アスベストは建築業および建設業、船舶業および製造業で広範囲に使用されていました。
- 1945年から1980年後半にかけて建設された住宅のうち三分の一は、天井、内壁、屋根、軒、外壁、水周り及びビニールの床用タイルなどにアスベストが使用されていた可能性があると予測されます。
- アスベストは、ブレーキパッド、ガスケット、密封剤、パイプ類、およびパイプの断熱材など様々な製品の製造に幅広く利用されました。
- クロシドライト（青石綿）、アモサイト（茶石綿）の含有製品の生産と据え付けは1985年に禁止されました。
- 1980年後半までに、建材へのアスベスト使用は全面的に禁止されました。
- The National Industrial Chemicals Notification and Assessment Scheme (全国工業用化学物質通知および評価スキーム) (NICNAS) のクリソタイル（白石綿）に関する全面公開報告書が1999年2月に発表されました。
- 2003年12月31日には、クリソタイルの輸入および使用の全面的禁止が全国的に発効しました。

EM14\_0005 - Reprinted April 2015



## 全国アスベスト暴露登録簿

当機関は、初の National Asbestos Exposure Register (全国アスベスト暴露登録簿) を管理しています。この登録簿は、アスベストに暴露した可能性のある地域社会の人たちの詳細を記録します。

もしも、あなたが雇用期間中、あるいは自宅で、またはコミュニティでアスベストに暴露した可能性があると思われる場合には、あなたの詳細を [www.asbestossafety.gov.au](http://www.asbestossafety.gov.au) からアクセスできる全国暴露登録簿に登録することができます。

登録簿に含まれる全ての情報は秘密保持され、本人の承諾なしには第三者に公開されることはありません。

当機関のウェブサイト上のオンライン用紙をナビゲートするためにはQRコードをご利用下さい。



### 連絡先詳細

ウェブサイト: [www.asbestossafety.gov.au](http://www.asbestossafety.gov.au)

Eメール: [enquiries@asbestossafety.gov.au](mailto:enquiries@asbestossafety.gov.au)

電話: 1300 326 148

ツイッター: @AsbestosSafety



Australian Government

Asbestos Safety and Eradication Agency

# アスベスト無しの オーストラリアをめざして

Working towards an asbestos-free Australia

[www.asbestossafety.gov.au](http://www.asbestossafety.gov.au)





## 歴史

オーストラリアにおけるアスベスト（石綿）の管理向上のための国家戦略計画策定に向けて勧告を行うために、2010年にオーストラリア政府による広範囲にわたる見直しを実施されました。

2012年8月に発表された *Asbestos Management Review Report* は、より広範囲にわたる地域社会でのアスベストに対する認識と管理を向上するために国家戦略計画を策定することを推奨しました。この見直しでは、計画の実行を導くために独立的な国家機関を設立することを推奨しました。

## 機関

職場の安全だけでなく、さらに環境および公衆衛生面での懸念事項を包含するアスベストの問題に全国的に重点的に取り組むため、2013年7月1日に *Asbestos Safety and Eradication Agency*（アスベスト安全・根絶機関）（当機関）が設立されました。

当機関は、全ての政府関連機関で変更が推進され、アスベスト関連疾患のリスクを低減するためにアスベスト関連の問題点に十分な注意と焦点が向けられることを目指します。

## Asbestos Safety and Eradication Council (アスベスト安全・根絶評議会)

当機関の作業はアスベスト安全・根絶評議会（当評議会）によって支援されます。当評議会はCEOおよび大臣に対し、国家戦略計画およびその他アスベストの安全事項について勧告します。

## 国家戦略計画

*National Strategic Plan for Asbestos Management and Awareness 2014-18*は、このような事項では初めての試みで、オーストラリアにおけるアスベスト管理、根絶、取り扱いおよび認識に対する全国的なアプローチの調整を図ります。当機関は全ての政府関連機関および関係者と協力して作業し、計画目標を実行します。

計画の目的は、オーストラリアにおけるアスベスト関連疾患を撲滅するためにアスベスト繊維への暴露を防止することです。

計画目標は以下の通りです：

- アスベストを使う作業やアスベストへの暴露による健康上のリスクに対する一般市民の認識を高める。
- アスベスト管理、教育、取り扱い、保管および除去における最善の方法を識別し、共有する。
- アスベストの識別と格付け、およびアスベスト含有物質の所在場所に関する情報の共有を改善する。
- アスベスト含有物質によるリスクがある場所の優先順位を見極め、アスベストの安全な除去への障害を識別し、アスベストを安全に除去する能力と速度を予測するために管理と除去のためのインフラの見直しを行う。
- アスベストへの暴露およびアスベスト関連疾患の予防のための調査研究を開始、観察および促進を図る。
- 世界中でアスベストの採掘および製造を禁止する世界的キャンペーンにおいてオーストラリアがリーダーシップの役割を果たすように支援する。

計画は当機関のウェブサイト [www.asbestossafety.gov.au](http://www.asbestossafety.gov.au) でご参照いただけます。

## アスベスト関連疾患

- 世界保健機構（WHO）は、アスベスト繊維に暴露すると胸膜疾患、石綿肺症、肺がん、中皮腫等、癌やその他の病気の原因となる可能性があるとして述べています。
- WHOは、いかなる形態のアスベスト繊維であっても、それ以下ならば安全という最低限の暴露レベルはないと声明しています。
- オーストラリアは、致命的で不治の中皮腫の発生率が最も高いなど、人口一人あたりのアスベスト関連疾患の発生率は世界で最も高いと報告されています。
- 2012年には、オーストラリアで638人が中皮腫により死亡しました。
- 今後20年間に30,000人ないし40,000人のオーストラリア人が、アスベスト関連疾患と診断されるものと予測されます。

## 実態

- アスベストは、6種類の天然の鉱物繊維の総称です。
- これらの繊維は蛇紋石族（クリソタイルまたは白石綿）または角閃石族（アンソフィライト、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライトあるいは茶石綿、灰石綿または青石綿）のいずれかに属します。
- アスベストは柔軟性を備え、拡張性に優れ、断熱や電気絶縁性などの特性を有し、さらに安価であるため、長年にわたり多用途の鉱物と考えられていました。